

土木学会WEB情報誌

from-doboku.jp

～土木への偏った愛～

始めます！



開設趣旨

<https://from-doboku.jp/>

東日本大震災から10年を迎え、台風、豪雨、地震、大雪などによる自然災害が毎年のように日本を襲う中、私たち土木従事者は復旧復興を支え、**社会を支えるインフラ作り**を行ってきました。しかし、まだまだその活動を広くお伝えできていないと感じています。

また、昨年から新しいウィルスに世界中が悩まされています。例えば、明治期のコレラの出現により「衛生工学」という分野が土木界で確立され、上下水道の整備や大気・水質の浄化を促進することで、**土木が疫病対策に寄与してきた歴史**があります。しかしやはり、一般には伝わっていないものです。

そのため、より多くの人に楽しく関心を持ってもらうために、プロ目線の小難しいことであっても、カジュアルに噛み砕いたユニークな形で届けることを目的に『**from DOBOKU**』を開設することに至りました。



2021年4月から始動！

3月に開設した  **note** 「from DOBOKU」を通じて、**2021年4月よりスタート**します。

編集委員の増強を図りながら、さらに本格的な編集体制を確立してまいります。

note の活用

「from DOBOKU」で発信していきたいコンテンツ（文章、写真、イラスト、動画、音声配信など）を特別なweb知識がなくても更新作業が手軽にでき、新しくWEBサイトを開設することなく発信できる利点と、月間アクティブユーザー数が6300万人以上というメディア力を持った  **note** を縦横無尽に活用してまいります。

デミーとマツのW編集長体制

編集長に就任した**出水亨（でみずあきら）**と**松永昭吾（まつながしょうご）**は、「噂の土木応援チームデミーとマツ」の2人組です。土木工学分野の博士であり、リアルインフラツーリズムの先駆者としてワクワク、土木土木（ドキドキ）、驚き体験ができる子ども向け土木体験イベントの企画・運営をボランティアで行っています。

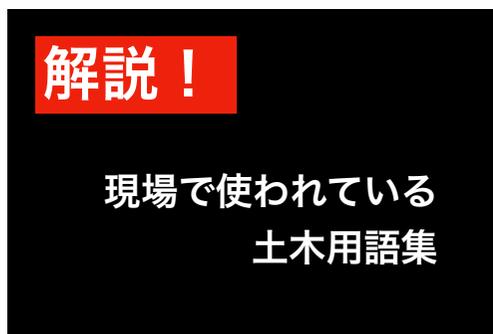


コンテンツ

【毎月単一テーマで！】

一般の方々にも土木好きが多くいます。例えば、ダムマニア、橋好き、暗渠好き、坂好きやジャンクションマニアなど、そういった**“偏愛”**を毎月決めたテーマに沿って、文章、写真、イラスト、動画、音声配信などのコンテンツを発信してまいります。

予定しているテーマ



編集委員の顔ぶれ

プロデューサー兼副編集長：山田洋 (フリーライター)

副編集長：小島健一 (見学家・フォトグラファー)

編集委員

荒木 利樹(服部組)、岩寄 いづみ・松田 光弘(ドボクのラジオ)、嵯峨山 航・山本 正和(土木写真部)

深瀬 尚子・村上 育子(土木技術者女性の会)、佐々木 理弦(建設コンサルタンツ協会 若手の会)

松下 義一(熊本県建設業協会青年部)、小椎尾 優(国土交通省九州地方整備局)

塚田 幸広(土木学会)、小松 淳(土木学会土木広報センター)

学生編集委員

浅野 太我、西川 貴章 (Doboku Lab)

ロゴについて

土木への“偏った愛”を声に出して表現する場として、土木にたずさわる人も、そうでない子どもや学生、主婦など老若男女誰でも**“それぞれの好きな土木”**を発信していくコミュニケーションの場にしたいと思いを入れて**「土木から=from DOBOKU」**をタイトルにしました。

メインロゴ



SDGsをテーマに持続可能な社会を土木からお伝えする思いを込めました。

アイコン



SNSのアイコン
ファビコン用

土木学会WEB情報誌

～土木への偏った愛～
始めます！



<https://from-doboku.jp/>